

第四章

猫にお願い!?



劉徳六「猫畫図」清時代後期

筆畫の絵画が人気であったことは、ひとりの作家が、同じ構図で複数の作品を描いていることから明らかです。また、筆畫図の中には、社会風刺の意味が込められた作品もあります。そのヴァリエーションの広がりがあります。

第三章

ニャンダフルな猫
新しい猫たち



孫騰「花猫図」民国25年(1936)

近代に描かれた猫の絵は、一部の西洋画の影響を受けた画家たちにより、リアルな姿で描かれます。繊細な猫の毛並みの描かれ方は、今にも作品の中から飛び出してきそうです。この背景には、猫の品種そのものの変化もあったのかもしれません。

第二章

吉祥の願い



銭蕙安「富貴筆畫図」光緒6年(1880)

猫の絵画には、さまざまな動物植物が添えられます。特に牡丹は、その豪華な咲きぶりから「富貴」を象徴し、猫・蝶との組み合わせは「富貴筆畫」と呼ばれ、吉祥の願いが強く込められた作品として多く描かれました。

第一章

筆畫って
ニャンだ!?



蓮溪「筆畫図」光緒2年(1876)

猫と蝶とを組み合わせる筆畫図は、中国で成立しました。この「長寿」や「幸福」の願いが込められた画題は、近代中国の不安定な社会状況下で人気となり、さまざまなかわいらしい猫が描かれるようになりました。

開館25周年
秋季企画展

筆畫 猫にお願い!

ニャンだ!?

吉祥の願い

きっしょう



【上から】
王小松「双猫図」民国36年(1947)
戴浜「筆畫図」民国17年(1928)
劉根洵「富貴筆畫図」民国25年(1936)
顔元「蒼寿図」清時代末期～民国時代
(掲載画像はすべて観峰館所蔵品より)

笑える猫から
福もらおう!/?

※講座・イベントは中止・延期になることがあります。観峰館HPで最新の情報をご確認ください。

関連イベント

オルゴール鑑賞会&ギャラリートーク

9月27日(日)
13時30分～15時30分

所要時間:
◎アンティークオルゴール鑑賞会 1時間
◎ギャラリートーク 50分 (休憩有)

参加費: 無料

要予約制 (定員40名)

ギャラリートーク&ミニコンサート

10月11日(日)
13時30分～15時

演奏者: 畑山智明
楽器: ケルト楽器・ティンホイッスル

所要時間: コンサート・ギャラリートーク 各40分

参加費: 無料(要入館料)

要予約制 (定員40名)

土曜講座

10月3日(土) 13時～14時
「近代中国絵画における筆畫図について」

10月24日(土) 13時～14時
「展覧会余録～日本美術と猫～」

講師: 当館学芸員
参加費: 500円(2回共通券、館内見学可)

要予約制 (定員各20名)

同時開催

〈本館5階〉
館蔵中国書画小品展

〈本館4階〉
小坂奇石の折帖手本

新型コロナウイルス感染予防のためマスク着用の上、ご来館ください。

書の文化にふれる博物館

観峰館

KAMPO MUSEUM IN SHIGA

公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘電田町136
TEL 0748-48-4141 FAX 0748-48-5475 URL <http://kampokan.com>



交通のご案内

- 電車・バスをご利用の場合…JR琵琶湖線(東海道本線)能登川駅下車→近江鉄道バス(八日市駅行き)で金堂竜田口下車、徒歩約15分(全所要時間約25分)
- 近江鉄道五箇荘駅下車、徒歩約15分
- タクシーをご利用の場合…JR能登川駅から約10分
- お車(名神高速)でお越しの場合[無料駐車場完備]…①名古屋方面彦根ICから国道8号で、西(大津方面)へ約16km/②大阪方面竜王ICから国道8号で、東(彦根方面)へ約16km

2020年
9/19(土)～11/23(月・祝)

休館日: 月曜日(9/21、11/23は開館)、9/23
無料入館日: 9/27(五個荘地域共催事業)、11/14・15(関西文化の日)
午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
※開館時間は変更することがあります。HPでご確認ください。

入館料: (常設展入館料を含む) 一般/500円 高校生・学生/300円 中学生以下/無料 会場: 新館特別展示室

書の文化にふれる博物館

観峰館

〈主催〉
公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘電田町136
TEL 0748-48-4141 FAX 0748-48-5475
URL <http://kampokan.com>

ホームページは
ここから見れるニャ!





Q.

猫と牡丹がいつしよに描かれるのはなぜ？

牡丹は、見た目の豪華さから「花王」と称され、富貴の意味が込められています。猫と蝶がいつしよに描かれる「富貴老畫」は、長寿・富貴のふたつの意味から、とても人気がありました。よくばりな作品ですね。



Q.

猫の眼が大きく開いてみえるのはなぜ？

猫の多くは、眼を大きく見開いているように見えますが、瞳孔(黒い部分)が細くなっています。これは、老畫図が牡丹とともに描かれ、牡丹が正午に大きく花を開くのに対し、猫の眼の瞳孔が細くなる現象を表わしています。このような描き方には、「富貴全盛」、吉祥を強く願う意味が込められています。



令和2年(2020)10月、観峰館は25周年を迎えます。それを記念して、観峰コレクションによる「老畫」をテーマとする中国絵画の展示会を開催します。

中国では、猫は「老」と発音が通じ、蝶は「老」と発音が通じ、また「礼記」に「七十も老といひ、八十も老といふ」と記されていることから、猫と蝶を描いた「老畫」は、長寿を願うおめでたい絵画として知られています。猫との組み合わせは、蝶だけに留まらず、牡丹(芙蓉)、菊、魚などの動植物に及び、吉祥の寓意とともに親しみのある猫の絵画は、時代を問わず、多くの人びとに愛されてきました。

この展示会では、当館が所蔵する近代中国絵画約50点の作品を通して、愛らしい猫たちの競演をご覧いただけます。世間的にみても、「老畫」をテーマとする展示会は、これまでほとんど開催されなかったものです。現代の不安定な社会状況だからこそ、近代中国絵画ならではのかわいい「ヘタウマ」な猫たちに、癒されてください。

Q.

魚もよく描かれていますね？

中国で魚は「余」と発音を通じるため、ゆとりある暮らしを象徴しています。猫が魚を捕まえようとするのは、その願いを叶えたいという、思いの強さを示しているのでしょう。けって、猫が食いしん坊だからではありません笑



Q.

牡丹以外の花にも意味があるの？

花にはいろいろな意味があります。たとえば、蓮は子孫繁栄を表わしますし、萱草は男の子の誕生を願います。秋といえば菊ですが、菊もまた、長寿を願うものです。描かれるいろいろな花を見つけてください。

